

## 令和2年度 特定非営利活動に係る事業報告書

※令和2年4月7日、1回目の「緊急事態宣言」発出され、令和3年4月25日には3回目の「緊急事態宣言」が発出されました。(千葉県はまん延防止等重点措置) 私たちの仕事は所謂「ソーシャルワーカー」と呼ばれ、人々の生活に最低限必要とされている職種であり、職員、利用者様が感染した場合を除き常に開所いたしております。(利用者様の中には、利用を自粛される方もいらっしゃいました) 利用者様は知的に障がいがある方たちですので、感染を防止するにしてもとても神経を使います。幸い、当法人では「感染者」発生しておりませんが気を許すことはできません。又、毎年行ってまいりました法人の行事も全て中止いたしました。こういった状況の中1年間活動を行ってまいりました。ワクチンの接種、早期の終息を切に願います。

### 1. 事業の成果

＜放課後等デイサービス事業＞

■事業を開始して8年目を迎える(平成25年4月開設)

放課後等デイサービス いもむし・みのわ 千葉県柏市箕輪 358-1

放課後等デイサービス いもむし・おおい 千葉県柏市大井 554-5

・「児童」「生徒」たちの放課後や学校長期休業時に「生活能力」の向上、「社会との交流促進等」といった支援を行う。

■「個別支援計画」を作成し、一人一人の「ニーズ、個性」にあった指導(支援)を行う。

・社会適応・学習指導(支援)

集団適応の促進の為、集団内でのコミュニケーション能力の向上。

個別、集団での学習指導(支援)

・生活指導

「身体」「生活レベル」に応じた、運動・作業の指導(支援)

・余暇支援

室内外でのレクリエーション、季節に応じた創作活動

法人の理念でもある「自然に触れ豊かな心を創ります」を大いに実践し、日々の活動は、外に出て元気に「遊ぶ」ことを主とし、近隣の公園へ出かけ、楽しむことが出来た。遊びの中から、物事の「順番」、「人の物を取ってはいけない」等、集団の中での社会的ルールを少しずつでも身につけられるようになる。

### <生活介護事業>

■事業を開始して7年目を迎える（平成26年4月開設）

生活介護事業所 ポム 千葉県柏市箕輪 358-1

・個別支援計画を作成し、一人一人の「個性」・「能力」にあった、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持、向上のため以下の支援を行う。

①人として当たり前の生活を

②より自立的、主体的な生活を

③適切な支えのある生活を

・日中活動の柱は、農作業、創作活動、受注作業を行い、協力・共働を通し、利用者の交流と体験の場を広げる。

### ■活動内容

・農作業、受注作業、廃油石けん作り・創作活動、調理実習

それぞれの活動を行い、それから得た収益を利用者の「工賃」として支給。

事業所から近くに新たな畑を利用することができ、農作物の収穫量も上がり、利用者の工賃UPにつながる。利用者も増加し活気あふれる事業所になってきました。

※利用を自粛される利用者様も多く、対応として雇用調整助成金を活用し有給で、職員にお休みをしていただく措置を取りました。

### <日中一時支援事業>

ほっとほっとルーム 千葉県柏市箕輪 358-1

・今年度も引き続き、障害者の居場所作りと保護者の就労支援及び休息等を支援するために活動する。（成人のみ支援）

成人の通所支援として「生活介護」を行っているが、「障害支援区分3以上」が、契約条件になるため、今後もニーズはあるので、継続して事業は行ってゆく。

### <移動支援事業>

外出介護いもむし 千葉県柏市箕輪 358-1

・今年度、利用者はいませんでした。

・土日祝日等の余暇活動がより充実したものとなるように、本人の希望とご家族の意向を確認し、利用者本人が有意義な活動が行えるよう移動を支援する。

### <地域公益事業>

おしゃべりcafé&食堂 きゃべつ 平成28年8月開設

R2年度～ 生活介護事業所ポムの従たる事業所として登録

千葉県柏市柏 3-11-27 アバンパルム柏 210

地域の子供から高齢者まで、誰もが集える場所として開設。生活介護事業所「ポム」で生産した野菜を使用した昼食等を低料金での提供。毎週水曜日に「子供食堂」を行っていましたが、新型コロナウイルス（コロナ）の影響により一度も開催なく年度終了してしまいました。法人として、知的障がい児者の支援を中心として事業を行ってまいりましたが、障がいのある人もない人も、子供も大人もだれもが立ち寄り、くつろげて、おしゃべりできる「みんな」の交流の場所として、地域公益事業「おしゃべり café&食堂 『きゃべつ』」を開設していましたが、こういう状況下もあり、又食品衛生法改正にあたり、設備基準が厳しくなり、R3 年度より、生活介護事業所ポムの従たる事業所としての活動を主に行ってまいります。

#### <共同生活援助事業>

##### ■共同生活援助事業所ぴゅーば 平成 31 年 4 月開設

・平成 31 年 4 月 知的障害のある方の居住施設として、定員 6 名、女性専用のグループホームを、障がい者総合支援法に基づく「共同生活援助（グループホーム）」事業所設立。開設 2 年目であり、利用者様、職員もだいぶ落ち着いてきました。この事業に関しては「食事」「住居」の提供がサービスの根本なので、今回の新型コロナウイルスに対して一番気を遣う事業である。食事にしても、職員と利用者様とのコミュニケーションをとることが、お互いの理解が進む場面である。所謂「黙食」は寂しい限りだが、「感染防止」「感染予防」のため致し方ない。いち早く終息し「明るい」「会話が弾む」食卓に戻ってほしいと願うばかりです。R2 年度 3 月に 1 名退居し、R3 年度 4 月 1 名入居いたします。状況的には満室でスタートできそうです。

## 2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数 (年度)	受益対象者の範囲 及び人数(年度)	支出額 (千円)
放課後等デイサービス いもむし・みのわ	放課後、長期学校 休業時の生活指導 (支援)	月～金	柏市及び近隣地域	5人	収益者 市民 不特定多数	112,522千円
放課後等デイサービス いもむし・おおい	放課後、長期学校 休業時の生活指導 (支援)	月～金	柏市及び近隣地域	5人	収益者 市民 不特定多数	
生活介護事業 「ポム」	・農作業 ・受主作業 ・廃石鹼作り ・創作活動 ・調理実習 ・納品、販売活 動に参加。	月～金	柏市及び近隣地域	10人	収益者 市民 不特定多数	
共同生活援助 ぴゅーぱ	日常生活支援 ・食事の提供 ・金銭管理 等	毎日	柏市及び近隣地域	4人	収益者 市民 入居者6名	
日中一時支援事業 「ほっとほっとルーム」	障害者の居場所作 りと保護者の就労 支援及び休息等	月～金	柏市及び近隣地域	2人	収益者 市民 不特定多数	
移動支援事業 「外出介護いもむし」	利用者の余暇活動 への参加介護(介 助)	毎日	柏市及び近隣地域	2名	収益者 市民 不特定多数	
地域公益事業 おしゃべりCafé&食堂 きゃべつ(子供食堂)	地域の子供から高 齢者まで、誰もが 集える場所として 開設。生活介護事 業で生産した野菜 を使用した昼食等 を低料金での提 供。	月～金	柏市及び近隣地域  ※子供食堂に関し ては、新型感染症 の影響で開催なし	2名	収益者 市民 不特定多数	